

# 社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書

平成 29 年 3 月 30 日

計画の名称	4' やきものの里の産業振興を支援する整備（防災・安全）		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成26年度（6年間）	交付団体	佐賀県、伊万里市、有田町
計画の目標			

西九州自動車道や伊万里港へのアクセスを改善する道路の整備や市街地の道路整備等を行い、「伊万里・有田焼」の窯業や国際化が進む伊万里港を核とした地域の活性化を図る。

計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光、産業振興の拠点となる施設からの15分以内のアクセス可能圏域をH26までに2%拡大</li> <li>防災点検等を踏まえた対策必要箇所をH26まで3箇所解消する</li> <li>当該地方公共団体の歩道整備率を12.5%（H21）から13.1%（H26）に引き上げる</li> </ul>
------------------	---

アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)	
① 拠点施設からの15分間アクセス圏域を測定し、H21当初からの増加率を算出する 〔（評価時点のアクセス可能圏域面積÷H21アクセス可能圏域面積）-1〕×100 %	-	1%	2%	
② 防災点検等を踏まえた対策必要箇所の対策実施数を算出する	-	-	3箇所	
③ H21当初からの歩道整備率の増加を算出する (歩道設置道路延長÷実延長) ×100%	12.5%	12.8%	13.1%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,599 百万円	A	1,551 百万円	B	0 百万円	C	49 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.1%
-------	---------------	--------------	---	--------------	---	----------	---	-----------	---------------------------	------

## 事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体（事業担当課）で評価を行う。	平成29年3月
	公表の方法
	県ホームページにて公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25	H26		
4' - A16	街路	一般	伊万里市	直接		S街路	改築	(都) 陣内白野線	バイパス L=0.1km	伊万里市							87.6	
4' - A28	道路	一般	有田町	直接		市町村道	修繕	(1) 立部広瀬線外1路線 有田工区	舗装補修 L=1.3km	有田町							75.5	
4' - A29	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	改築	(主) 伊万里畑川内蔵木線 立川工区	バイパス L=1.3km	伊万里市							210.0	
4' - A30	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	改築	(一) 伊万里有田線 山谷牧工区	バイパス L=1.7km	有田町							330.0	
4' - A31	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	改築	(主) 伊万里山内線 岩谷工区	現道拡幅 L=0.5km	伊万里市							287.4	
4' - A32	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	交安	(一) 塩屋大曲線 大黒川工区	自歩道整備 L=0.8km	伊万里市							130.9	
4' - A33	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	修繕	(一) 塩屋大曲線 黒川工区	舗装補修 L=1.4km	伊万里市							50.0	
4' - A34	道路	一般	佐賀県	直接		国道	修繕	(国) 204号 東山代工区	舗装補修 L=1.8km	伊万里市							140.2	
4' - A35	道路	一般	佐賀県	直接		国道	修繕	(国) 204号 山代工区	舗装補修 L=0.8km	伊万里市							35.0	
4' - A36	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	修繕	(主) 川棚有田線 戸矢工区	舗装補修 L=1.2km	有田町							73.0	
4' - A38	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	修繕	(国) 498号 二里・松浦工区	舗装補修 L=2.5km	伊万里市							20.0	
4' - A39	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	修繕	(主) 相知山内線 大川工区	舗装補修 L=2.0km	伊万里市							14.9	
4' - A40	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道	修繕	(主) 伊万里畑川内蔵木線 伊万里工区	舗装補修 L=1.5km	伊万里市							45.2	
4' - A41	道路	一般	有田町	直接		市町村道	修繕	(他) 尾ノ上下迎原線 仏ノ原工区	舗装補修 L=0.1km	有田町							50.9	
											合計						1,550.6	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略・工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考		
										H21	H22	H23	H24	H25	H26				
4'	-	C2	計画・調査	一般	伊万里市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	長寿命化修繕計画(全橋梁)	伊万里市							8.0	
4'	-	C4	計画・調査	一般	伊万里市	直接		計画・調査	道路防災点検	道路防災点検(法面・盛土・擁壁等)	伊万里市							6.0	
4'	-	C5	計画・調査	一般	伊万里市	直接		計画・調査	道路附属物点検	道路附属物点検(標識、照明施設等)	伊万里市							1.0	
4'	-	C6	計画・調査	一般	有田町	直接		計画・調査	道路防災点検	道路防災点検(法面・盛土・擁壁等)	有田町							1.0	
4'	-	C7	施設整備	一般	佐賀県	直接			無電柱化	(都) 泉山南川良原線	有田町							20.9	
4'	-	C8	計画・調査	一般	有田町	直接		計画・調査	路面性状調査	L=15.0km	有田町							2.0	
4'	-	C9	計画・調査	一般	佐賀県	直接		計画・調査	道路附属物点検	道路附属物点検	伊万里市、有田							10.0	
										合計						48.9			

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
4'	-	C2	当計画の効果を向上させることを目的として、道路橋(全橋梁)の橋梁長寿命化修繕計画の策定を行う。													
4'	-	C4	当計画の効果を向上させることを目的として、法面・盛土・擁壁等の点検を行う。													
4'	-	C5	当計画の効果を向上させることを目的として、道路付附属物点検(標識、照明施設等)を行う。													
4'	-	C6	当計画の効果を向上させることを目的として、法面・盛土・擁壁等の点検を行う。													
4'	-	C7	当計画の効果を向上させることを目的として、無電柱化を行う。													
4'	-	C8	当計画の効果を向上させることを目的として、路面性状調査を行う。													
4'	-	C9	当計画の効果を向上させることを目的として、道路附属物点検を行う。													

その他関連する事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略・工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考		
										H21	H22	H23	H24	H25	H26				
4'	-	A'	道路	一般	佐賀県	直接		都道府県道 修繕	(主) 伊万里畑川内蔵木線 南波多工区	道路防災 L=0.1km	伊万里市							36.0	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I アウトカム指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>バイパス整備や現道拡幅等を行った結果、交通の円滑化が図られ、JR伊万里駅や工業団地等へのアクセス性が向上した。</li> <li>道路法面の防災対策等を行った結果、対策必要箇所の解消が図られ、道路利用者の安全性が向上した。</li> <li>歩道整備等を行った結果、車両と歩行者の分離が確立され、道路利用者の安全性が向上した。</li> </ul>			
II アウトカム指標の達成状況	指標①(15分間アクセス可能圏域面積の増加)	最終目標値	2.0%	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業展開により、道路整備の進捗が図られたため。
		最終実績値	5.9%		
	指標②(防災点検等を踏まえた対策必要箇所の解消)	最終目標値	3箇所	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業展開により、道路整備の進捗が図られたため。
		最終実績値	7箇所		

指標③（歩道整備率の増加）	最終目標値	13.1 %	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業展開により、道路整備の進捗が図られたため。
	最終実績値	14.2 %		

Ⅲアウトカム指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

3. 特記事項（今後の方針等）

計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し早期の効果発現を目指す。